

福島県市町村広報コンクール

三冠達成、全国へ 写真は三年連続独占



講評【広報紙の部】山城サミット：豊富な組み写真、歴史トークで紹介し、参加できなかった人も楽しめる工夫がある。ロイヤルピーチポーク：誕生秘話にストーリーがあり、思わず引き込まれる。【写真の部】（10月号表紙）コロナ禍で距離を保つよう叫ばれる中で高齢女性に差し伸べられた手に温かみを感じた。最高の瞬間を切り取った。（運動会）ところ狭しと並ぶ一枚一枚の写真から躍動感や児童の喜びが伝わった。寄りと引きのバランスもよく引き込まれた。

check

バックナンバー
はこちらから



主役は町の皆さん
あたたかい支えに感謝

第67回県市町村広報コンクールにおいて、広報紙・一枚写真・組み写真の三部門で、県内一位となる特選を受賞しました。同コンクールは、令和3年に発行された広報媒体（応募総数34市町村89点）を対象に実施。特選作品は、県代表として、公益社団法人日本広報協会主催の全国広報コンクールに推薦されます。

まずは、日ごろ取材にご協力いただいている皆さん、読者の皆さんに、心より感謝を申し上げます。「今月の表紙良かったよ」「コロナ禍だからこそ、みんなの笑顔に心が温まるね」「広報こおりに載るのが、家族の夢！」とのお言葉。皆さんからの大きな支えのおかげで、賞をいただくことができました。

今後も、町の皆さんの頑張る姿や思いにスポットライトを当て、笑顔があふれる、桑折町らしい温かい広報紙をお届けしていきます。

広報紙に掲載されて

voice



鈴木 クニさん、松野 裕希さん

10月号の表紙を飾ったお二人。「素晴らしい機会をいただき夢のようです。今も時々あの写真を見返しています。多くの人に声を掛けられ、仲間も増えました。『受賞おめでとう』と言われる度に涙があふれます」と涙ぐむ鈴木さん。松野さんは「みんなで泣き笑いました撮影会。今までひっそりと暮らしていましたが、表紙掲載を機に、町の一員になれた気がしてうれしかったです」とほほ笑みました。